

健康寿命のまちづくり

サロンを中心に推進



中倉 毅 議員

現在、健康寿命は、71歳と言われている。平均寿命と約10年間の差がある。寝たきりになっている年数で医療費抑制の観点から重要な施策である。町長は政策としてどのように考えているか。

特定検診やガン検診を実施

町長

本町では、健康寿命と平均寿命に大きな差があり、重要な課題であるとして認識している。政策として生活習慣病を予防するため、特定検診やガン検診を実施しており、保健指導や栄養指導を実施し

員、保健師等を派遣する考えはないか。

要望により派遣している

町長

運動普及推進員による健康体操や、保健師による健康講座等を、サロンやランドゴルフ大会等で要望により実施している。今後も各団体での普及に努めたい。

因果関係があるか

中倉毅議員

大崎町の一人当たりの医療費は、平成25年度32000円、26年度で34000円となっている。医療費の抑制と運動は因果関係があると思うか。

因果関係は大きい

町長

生活習慣病の予防には、運動や栄養面の改善が必要である。結果的に医療費の抑制と運動の因果関係は大いにあると考える。

保健師等の派遣はどうか

中倉毅議員

集落でのサロンやランドゴルフ大会等で運動普及推進員、食改善推進

ラジオ体操は、町民の健康維持増進の観点から必要と思う。困難と言う理由は何か。

町民からの苦情が多い

町長

毎日、ラジオ体操を放送した場合、その時間帯で子育ての世帯、休んでいる方、深夜勤務の方からの苦情が多いと思う。

何らかの取り組みは

中倉毅議員

ラジオ体操は、町民運動の一環として、普及することが健康寿命の観点からも重要である。何らかの形で取り組んでいたきたい。

何らかの形で実施する

町長

NHKの朝のラジオ体操や鹿屋体育大学とも連携して、ラジオ体操の普及を図れないか協議する。

アスリートの人材育成は

中倉毅議員

有明高校跡地に大隅ス

えているか。

町の表彰規程で実施

教育長

本町では、現在、町の表彰規程により、各団体から推薦をいただき、選考委員会で決定し、町民体育祭の場で表彰し、広報誌で紹介している。

顕彰規程をどう思っか

中倉毅議員

私が提案しているのは、表彰規程ではなく、顕彰規程のことである。かねてから町長は、町民の隅々まで光を当てる行政をしたいと言われている。大崎町スポーツ功労者顕彰規程(案)を提案するかどうか。

基準作りは慎重にしたい

町長

顕彰規程(案)を提案していただいたので、慎重に基準づくりをやっていかねければならないと受け止めている。